

授業科目	言語発達障害Ⅶ (援助法・臨床)				
担当者	岡崎満希子・川畑武義				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

ST と子どもが遊んでいるセッション場面を見て「子どもさんの課題」と、「ST のかかわり方」について検討します。

■ 到達目標

1. 子どもの多様性に気づくことができる
2. 子どもに合わせた遊びを考えることができる
3. 子どもの遊び場面から、子どもの能力を評価することができる

■ 授業計画

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 子どもに関する情報を基に遊びの内容と設定を考える
- 第3回 症例の映像を見て記録を取る (症例①)
- 第4回 所見作成 (グループワーク)
- 第5回 振り返り、フィードバック
- 第6回 症例の映像を見て記録を取る (症例②セッション1)
- 第7回 所見作成 (グループワーク)
- 第8回 振り返り、フィードバック
- 第9回 症例の映像を見て記録を取る (症例②セッション2)
- 第10回 所見作成 (グループワーク)
- 第11回 振り返り、フィードバック
- 第12回 行動観察・各種検査の結果をもとに初期評価をまとめる (1)
- 第13回 行動観察・各種検査の結果をもとに初期評価をまとめる (2)
- 第14回 子どもに関する情報を基に遊びの内容と設定を考える (1)
- 第15回 子どもに関する情報を基に遊びの内容と設定を考える (2)

■ 評価方法

準備を含めたセッションへの取り組み20%、提出レポート80%で評価する

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

授業後、次回授業までに課題についてグループディスカッションを行い、レポートを作成・提出すること

■ 教科書

書 名：言語聴覚障害診断 小児編
 著者名：大塚裕一、井崎基博
 出版社：医学と看護社

■ 参考図書

書 名：言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編
 著者名：深浦順一・内山千鶴子 編著
 出版社：建帛社

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって